

正副議長定例記者会見の質疑（令和4年12月定例会）

日時：令和4年12月16日（金） 13：45～13：54

場所：観光スポーツ文教警察委員会室

記者会見を行う渡部議長



記者会見を行う古川副議長



（NHK：幹事社）

定刻となりましたので、正副議長の記者会見を始めさせていただきます。

なお、議長は次の公務がありますので、記者会見の時間は14時05分までとさせていただきます。まず初めに、議長からご挨拶をお願いします。

（議長）

本日、12月定例会を閉じましての定例記者会見でございます。どうかよろしくお願ひします。さて、今議会では、12月補正予算において、「新型コロナウイルス感染症の重点医療機関等への協力金」や「物価高騰に伴う県内消費への影響緩和策」など、県政の諸課題に適切に対処できたものと認識しております。

このほか、DXの推進、人口減少対策や県立高校の再編計画案など、その他の県政重要課題についても活発な質疑が展開され、議論が深まったものと評価しております。

以上、簡単ではありますが、冒頭のあいさつといたします。

（NHK：幹事社）

副議長いかがでしょうか。

（副議長）

はい。副議長として、議長をお支えし、県政の喫緊の課題の解決のために、今回の補正予算の成立など、一定の成果を挙げることができたものと考えております。

（NHK：幹事社）

ありがとうございました。続いて弊社からの代表質問です。

知事選挙の結果を受け、議会として知事とどのように連携・向き合っていくのか、お

聞かせください。

(議長)

はい。御承知のとおり、11月の知事選で中村知事は約90%という圧倒的な得票率で再選を果たされており、中村知事のこれまでの県政運営に対する県民の高い評価が、この結果に反映されているものと認識しております。中村知事におかれては、平成22年の知事就任以来、「愛顔（えがお）あふれる愛媛県」の実現に向け、社会経済の動向を踏まえながら、本県の重要課題である「防災・減災対策」、「人口減少対策」、「地域経済の活性化」等、県政の発展に全力で取り組まれ、着実に成果を挙げてこられたと認識しております。

4期目のスタートに当たり、本会議において、知事から、「挑戦、実行、現場主義、オール愛媛の4つの基本姿勢を堅持しながら、公約の実現に全力で取り組んでいく」との力強い意思表示があり、引き続き、喫緊の課題である県民の安全を守る防災・減災対策、少子高齢化に伴う人口減少対策、地域経済の活性化からなる政策の三本柱に加え、社会情勢を踏まえて、新たな要因として位置付けた「新型コロナ対策」と「デジタル技術の活用」に積極的に取り組んでいただきたいと思います。

なお、二元代表制の一翼を担う県議会としては、今後とも県民の皆様の声を県政に届けるとともに、県政のチェック機能を果たしながら、共通の願いである愛媛県の発展に向け、互いに切磋琢磨していきたいと考えております。

(NHK：幹事社)

副議長いかがですか。

(副議長)

議長のおっしゃる通りで、二元代表制の一翼として、議会と理事者との適切な距離を保ちながら、しっかりとやっていきたいと思っております。

(NHK：幹事社)

続けて、弊社から質問です。

知事の四期目登板を受けて、議会のチェック機能も多選による影響が出てくるのではないかとの見方もありますが、議会として、行政へのチェック機能をどのように果たしていきたいと思っておりますか。

(議長)

知事が多選が、議会チェック機能に影響を及ぼすことはありません。議会は、今後とも、二元代表制の一翼を担う機関としての役どころを果たしていきます。

なお、中村知事は、1期目から終始一貫して県民に愛顔（えがお）をもたらすことをモットーに県政のかじ取りを行っておられる。今後とも、その姿勢は変えることなく、強いリーダーシップを発揮しながら、県民の目線に合わせた行政運営に充分配慮してくれるものと期待しております。

(愛媛新聞)

現時点における県政の課題について、どのような認識をもたれてますか。

(議長)

冒頭のあいさつの繰り返しになりますが、「防災・減災対策」、「人口減少対策」、「地域経済の活性化」この三つについては、本県が従前から向き合ってきている課題であり、特に重要な課題であると認識しております。また、新たな課題としてDX社会をいかに推進していくかが課題であろうと考えております。DXの推進は、県民生活の利便性の向上や豊かさに結び付くものと考えておりますが、スピード感をもっていかにして推進していくかが大きな課題であると思っております。

さらに、コロナウイルス感染症についても大きな課題であると認識しております。コロナウイルスとの戦いが始まって3年近くになりますが、今後、この困難な状況をどうやって乗り越えていくかが、大きな課題であると思っております。コロナ対策については、国の指針に沿うだけでなく、愛媛の現状を踏まえながら、コロナウイルスと向き合っていくことが肝要であろうと思えます。

(NHK：幹事社)

他に質問はありませんので、以上で正副議長の記者会見を終わります。

ありがとうございました。